

## 動物病院研究室 仮・本入室用シラバス（担当教員：永延清和、鳥巢至道）

本研究室では、小動物臨床に必要な知識・技術の大部のことを体験できます。学生さんであっても努力次第でそれらを確実に習得できますし、また、できるように応援します。臨床に関する考え方や技術は個々の獣医師で異なる点があるかもしれませんが、私達は基本をキッチリ抑えた上でそれらを応用しております。これらは卒業後も必ず活かされ、実際にこれまでの卒業生は勤務開始直後から“できる”と評価され活躍しております。

### 1. 研究室の概要、動物病院の臨床、研究内容

鳥巢は外科手術、消化器疾患（特に肝疾患）、内視鏡検査、腹腔鏡検査や手術、栄養療法などに、永延は麻酔・疼痛管理、心肺蘇生、眼科に力を入れて臨床・研究に取り組んでおります。臨床例は小動物の症例が多いのですが、上述の分野では大動物、エキゾチック動物にも対応しております。**最近、イルカの手術／麻酔の研究や臨床も水族館と共同で行っています。**

これらの中で、重症動物の全身管理・麻酔管理・疼痛管理は、永延、鳥巢の双方に共通した臨床・研究テーマです。これらをきちんと行うためには、呼吸、循環、代謝、内分泌、血液、その他、生体のあらゆる生理・薬理・解剖を理解して応用する必要があり、また病態によっては微生物、病理などに関する知識とその応用が必要となります。

本研究室では教員も一生懸命全力でやっております。ですから、学生さんにも、やる気を期待します。もちろん適度な休息や息抜きは必要ですが。

学生さんには、研究室の仕事（ゼミや研究テーマなど）と動物病院の仕事との両方をまじめにやれば、少なくとも卒業後に小動物臨床の上記分野においては即戦力となれる程度の力をつけていただくことを目指してトレーニングを行います。

2. 受入学生数等・・・5年生（本入室）：3人、4年生（仮入室）：制限なし。入室決定前に、永延・鳥巢の双方との面談を必須とします

3. 英文獣医学演習・・・原則として週1回。麻酔・集中治療を中心に、上述の臨床テーマ・研究テーマに関する基本的または最新の英語論文等を、和訳あるいは紹介していただきます。

4. 講座専修実験・・・上記の永延、鳥巢の臨床・研究に関する内容が主なテーマとなる予定です。

### 5. 入室したら必ずやっただくこと

（1）動物病院：診療・手術・入院動物管理等の補助、動物病院の掃除（他の研究室と分担）、供血動物の管理（他の研究室と分担）

（2）研究室：飼育動物がいる時はその管理・動物舎の掃除、研究室の掃除、教員や他の学生の研究、実験、当番の補助など